

平成27年4月28日

## 原料費調整制度に基づく平成27年6月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成27年6月検針分の単位料金を、平成27年5月検針分に比べ1m<sup>3</sup>(43.14MJ)につき1.97円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成27年1月～平成27年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に41m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成27年5月検針分と比較して、81円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成27年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月の ご使用量	料金表A	料金表B	料金表C
	0～26m <sup>3</sup>	27～522m <sup>3</sup>	523m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,269.62	7,470.98
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	131.26	111.09	99.21
調整単位料金 5月 (円/m <sup>3</sup> )	133.23	113.06	101.18

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成27年 5月	平成27年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,905	5,824	▲ 81

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定するよう変更いたしました。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成26年12月～平成27年2月 の平均 (5月検針分)	平成27年1月～平成27年3月 の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	33,170	30,690	▲ 2,480
LNG	90,720	83,920	▲ 6,800
LPG	68,990	64,020	▲ 4,970

基準平均原料価格(b)	29,380		
-------------	--------	--	--

差額(a-b)	3,700	1,300	▲ 2,400
---------	-------	-------	---------

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 83,920 \times 0.3462 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 64,020 \times 0.0256 \end{aligned}$$

$$= 30,692.01$$

↓(10円未満四捨五入)

$$30,690 \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$30,690 \text{ 円/t} - 29,380 \text{ 円/t} = 1,310 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$1,300 \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 1,300 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08208^* \\ &= 1.06 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て}) \end{aligned}$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.08208(0.076×1.08)円調整します

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成27年 5月	平成27年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,905	5,824	▲ 81

- ・ 標準家庭料金の計算方法  
群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,269.62 \text{円}) \\ &+ \text{調整単位料金}(110.03 \text{円}) + 1.06 \text{円} \times 41 \text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金 ↑      ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(29,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.08208円(0.076円に1.08消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が47,010円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は47,010円としてガス料金の調整を行います。